

Title	募集 大阪大学大型計算機センターニュース 第104 号 (Vol.27 №1)
Author(s)	
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1997, 104, p. 109-113
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/66217
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

平成9年度研究開発計画の公募について

大阪大学大型計算機センターでは、共同利用機関としての実をあげ、学術の研究・教育に資することを目的に、プログラム及びデータベースの研究開発を進めています。

そこで、利用者の方で下記のテーマについて研究開発し、そのプログラムまたはデータベースを本センター利用者に公開していただける方を募集します。特に1. (9)特定研究開発課題については、審査及び開発経費が優先的に配慮されます。

記

1. 研究開発計画の対象テーマと申請書

◆対象テーマ

- (1)基礎及び応用プログラム開発に関するもの
- (2)計算機言語に関するもの
- (3)計算機利用に関するもの(各種のユーティリティ・プログラム作成など)
- (4)プログラム・ライブラリの書き換え、改良及び精度、信頼性の検定
- (5)計算結果の可視化に関するもの
- (6)データベースの応用、利用支援プログラムの開発に関するもの
- (7)学術文献データベースの構築に関するもの
- (8)各種ファクトデータベース(数値、図形、画像データベース等)の構築に関するもの
- (9)特定研究開発課題
 - (A)SX-viewの簡易ライブラリの開発
 - (B)SX-viewおよび超高速画像転送装置を利用した可視化手順に関する種々の開発
 - (C)画像サブシステム装置の利用に関する種々の開発
 - (D)SX-4上のC言語における高速化技法の開発
 - (E)Onyx上の並列化による高速化技法の開発

◆申請書

- (1)~(5), (9)ライブラリ・プログラム開発計画申請書
- (6)~(8) データベース開発計画申請書

2. 応募資格

本センター利用有資格者

3. 申請書の請求先・提出先

大阪大学大型計算機センター 共同利用掛

4. 応募期間

応募は年間を通じて受け付けます。

5. 研究開発の期間

原則として当該年度末までとします。複数年度にまたがる場合は、再申請により継続します。

6. 研究開発の経費

研究開発に要する計算機の利用負担金の一定額を免除します。

7. 研究開発の承認

応募いただきました研究開発計画は、プログラム・ライブラリ研究開発計画委員会またはデータベース研究開発計画委員会で審査し、採否を決定します。

- 8. 研究開発者の義務
 - ○開発終了時に、開発したプログラム、データベース及び利用手引書の提出をお願いします。
- ○利用手引書はセンターニュースに掲載します。
- 9、著作権
 - ○開発されたプログラム、データベースの著作権は、原則として開発者にあります。
 - ○開発者は、学術雑誌等への発表や公開を行うことができます。
- 10. その他

詳細は、センター内規(「ライブラリ・プログラム開発内規」、「データベース開発内規」)をご覧ください。

11. 問い合わせ先

大阪大学大型計算機センター 共同利用掛

電 話 06-879-8808

E-mail kyoudou@center.osaka-u.ac.jp

(研究開発部、共同利用掛)

平成9年度ライブラリ・プログラム開発申請課題一覧

開発申請者		開発課題
木村紀之	大阪工業大学工学部助教授	EMTP(Electro Magnetic Transient Program)の入出力プログラムの開発 〔継続〕
黒 澤 努	大阪大学医学部 助教授	医用生体画像の立体再構築と編集ツールの開発 〔継続〕
北川浩	大阪大学工学部 教 授	有限要素法-分子動力学結合シミュレーション プログラムの開発 〔継続〕
高木達也	大阪大学遺伝情報実験施設 講 師	分子科学用プログラムの開発、移植及び改良 〔継続〕
井 本 正 介	大阪大学 名誉教授	原子・イオンの電子状態 〔新規〕

平成9年度データベース開発申請課題一覧

				5 5 Fig. 1		111111111111111111111111111111111111111		
開発申請者		所	属			開	発	課題
	Land Land	11					:	the transfer of
			ı	d .		-		
				な	L			
								1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1

SX-4 モニターの募集について

計算機利用サービスの充実のため, お知恵を拝借します

本センターでは、平成9年1月より新スーパーコンピュータ SX-4 を導入し、そのサービスを開始しました。SX-4 は CPU 数 64 台の並列コンピュータで、その総合演算性能は従来機種に比べて大幅に向上しています。その性能を最大限に引き出すためには従来のプログラミング技術のみでは不十分です。特に並列化プログラミングは新しいシステムに応じた技術を蓄積活用していかなければなりません。

また、SX-4 には利用者の方々へのアンケート結果を反映して数多くのアプリケーションソフトウェアが導入されています。

しかし、これらのアプリケーションプログラムをより有効に活用していくには、新しいプログラミング技術と同様、詳しい利用方法やノウハウを蓄積していかなければなりません。

そこで、利用者の方々に SX-4 をいろいろな角度からモニターしていただき、得られた結果やノウハウ (失敗例や成功例を含めて)を本センターの全ての利用者が共有できるよう提供していただくことが重要です。この趣旨に沿って、以下の要領で SX-4 モニターを募集します。

------ SX-4 モニター応募要項 ------

1. 応募資格

本センター利用者及び利用有資格者

2. 応募方法

本センター指定の応募用紙に、本センターの計算機及び他の計算機の利用経験と、SX-4 モニターとしての SX-4 使用計画を具体的にご記入ください。応募用紙は下記の問い合わせ先にて配布しております。提出していただいた内容はプログラムライブラリ研究開発計画委員会にて審査のうえ、採択を決定いたします。

なお、提出していただいた内容について、本センターよりお問い合わせすることがあります。 (モニター活動内容の例)

- ・各プログラミング言語による並列化プログラミング技術を蓄積し全利用者に提供する。
- ・MPIを利用した並列化プログラミング技術を蓄積し全利用者に提供する。
- ・各アプリケーションの詳細な利用方法、ノウハウを蓄積し全利用者に提供する。
- ・各アプリケーションをより容易に利用するためのツール群を作成し全利用者に提供する。
- ・各アプリケーションの利用者メーリングリストやホームページを開設し、積極的に運用を行う。
- 3. モニターの義務
 - (1)モニター活動の中で得た情報を、SX-4 ユーザーズメーリングリストにおいて随時報告する。 (2)モニター活動の中で得た情報を、センターニュースの原稿としてまとめる。
- 4. 利用負担金の免除

プログラムライブラリ研究開発計画委員会にて審査のうえ、20万円の範囲内で全額免除します。

5. 利用期限

平成10年3月末日

6. 利用者番号

モニター利用者番号は、現在の利用者番号とは異なる特別番号を付与します。

7. 問い合わせ先及び申し込み先

本センター共同利用掛 (TEL 06-879-8808, FAX 06-879-8814, E-mail kyoudou@center.osaka-u.ac.jp)

◆SX-4 及び導入アプリケーションの情報は、以下の URL 及びセンターニュース Vol.26 No.4 (1997-1) で提供しております。

http://www.center.osaka-u.ac.jp/center/manual/sx4/index.html

S X-4 モニター申込書

平成 年 月 日

大阪大学大型計算機センター長 殿

下記のとおりSX-4モニター申込書を提出します。

氏 名		印	身分	
所 属				
住 所	Ŧ			
連絡先	電 話 (E-mail)	-	内線
利用経験				
具体的な ²	Eニター活動の目的			。あらゆる面でSX-4を使って ニターの義務が大切です)

注)くモニターの義務>

- ・モニター活動の中で得た情報をSX-4ユーザメーリングリストにおいて随時報告する。
- ・モニター活動の中で得た情報をセンターニュースの原稿としてまとめる。

く審査>

大阪大学大型計算機センター・プログラムライブラリ研究開発計画委員会にて審査。

<問合先>

本センター共同利用樹

(TEL 06-879-8808, FAX 06-879-8814, e-mail kyoudou@center.osaka-u.ac.jp) 〒567 茨木市美穂ヶ丘5番1号(阪大吹田団地内)

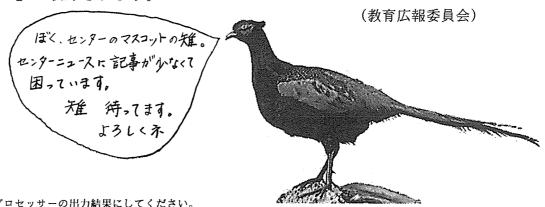
原稿の募集について

本センターでは、5月・8月・11月・2月にセンターニュースを発行しています。 このセンターニュースに掲載する、次の内容の記事を募集しています。

- 1. 随筆
- 2. 計算機を利用して行った研究・開発の紹介
- 3. プログラムの実例と解説
- 4. その他、センターニュースに掲載するにふさわしいもの

投稿いただいた方には、ご希望により別刷を50部お渡しします。どしどしご投稿く ださい。

なお、このセンターニュースは学術情報センターがサービスを行っている「学術雑誌 目次速報データベース」に収録されます。



<投稿上の注意>

- ・原稿は原則としてワードプロセッサーの出力結果にしてください。
- ・フロッピィーディスク (一太郎・Tex 等)、電子メールで原稿を提出される場合は共同利用掛にお問い合わせください。
- ・ワードプロセッサーによる場合、書式はA4横書きです。

r	書 式 設	定 例	
1 行の文字数	44字(全角)	1 頁行数	38行
上端マージン	25 mm	下端マージン	20mm
左端マージン	20 mm	右端のマージン	20mm
L]

- ・写真、図、表はできるだけオリジナルを添付し、挿入位置を明示してください。
- ・プログラム例を載せられる場合は、端末からの出力紙やラインプリンターに出力したものを付けてください。
- 投稿原稿は、原則として返却しません。
- ・校正は原則として初校のみ著者にお願いします。その場合の連絡先を明記してください。ワープロ原稿の場合は校正はありま せん。校正時の訂正、加筆は原則として認めませんのでご了承ください。
- ・発行川が5月、8月、11月、2月ですので、原稿締切日は4月初旬、7月初旬、10月初旬、1月初旬です。

投稿記事(2.計算機を利用して行った研究・開発の紹介、3.プログラムの実例と解説)に対 しては、掲載された場合、本センター計算機利用に係る(他センターの利用は不可)経費として、 1件につき5万円負担させていただきます。

投稿についての問い合わせ先

大阪大学大型計算機センター 共同利用掛

〒567 茨木市美穂ケ丘5番1号

話 06-879-8808 E-mail kyoudou@center.osaka-u.ac.jp